

本書の使い方



『課題研究ノート』は皆さんが行う課題研究の一部始終を記録し、まとめるためのものである。これから課題研究を始める皆さんは、自分が行う研究に思いをはせながら、この白紙のノートを見るだろう。研究がスタートすると、楽しいこともあれば、苦しいことや悔しい思いをするかもしれない。このノートにはその一つひとつが記録されていく。研究を終えて、黒くびっしりと書かれたこのノートを見返したとき、あなたは何を思うだろうか？ 研究を始める前と終わったあとで、どのような変化が自分の中にあるだろうか？

本書は「ワークシート編」と「記録編」で構成されている。ワークシート編は、『課題研究メソッド』（別売）に書かれているポイントを学びながら取り組んでほしい。記録編は、研究を行う中で触れた情報や、自分自身で行ったことや発見を記録するためのものだ。文献リスト(p.35～)には、触れた情報源について記録する。スクラップブック(p.38～)は、得た情報を分析し、理解を深めるために使用する。質問用シート(p.41, 42)は、有識者に質問を行う準備の際に用いる。研究ノート(p.43～)は、主に調査・実験を行った際の日々の記録として使用する。課題研究が終わったら、最後のページで課題研究のふりかえりを行おう。

このノートは皆さんの成長の記録でもある。よかったこともよくなかったことも、日々考え、行動した記録として残しておこう。将来、たいへん価値のあるものになるかもしれない。

もくじ

ワークシート編

キーワードの抽出	2
キーワードの意味や定義	2
キーワードのロジックツリー	6
キーワードマッピング	7
キーワードの文章化	8
研究テーマの決定	8
先行研究・事例の検証	9
リサーチクエスションの設定(社会的な課題)	12
リサーチクエスションの設定(自然科学に関する課題)	13
リサーチクエスションの検証	14
仮説の設定と検証	15
アンケート調査の準備	16
アンケートフォーム	17
インタビュー調査の準備	18
参与観察の準備	19
実験の準備	20
研究手法のまとめ	22

研究計画書の検証	23
研究計画書の作成	24
図・表の分析	26
文章などの分析	28
結論を導くまでのロジックツリー	29
結論と今後の展望	30
研究内容のまとめ	31
研究要綱の作成	32
プレゼンテーションの準備	34

記録編

文献リスト	35
スクラップブック	38
有識者への質問(電話)	41
有識者への質問(インタビュー)	42
研究ノート	43
課題研究をふり返って	56

ワークシート編

● キーワードの抽出

▶【課題研究メソッド】 p. 42

これまでに収集した文献やデータから、あなたが関心をもったテーマに関するキーワードを抜き出そう。

<p>キーワード</p> <hr/> <p>キーワードの言い換え</p>	<p>文献リスト No. もしくは出典元</p>
<p>キーワードの意味・定義</p>	
<p>関連する語い</p>	

● キーワードの意味や定義

▶【課題研究メソッド】 p. 44

上記のキーワードから、特に気になったキーワードについてまとめよう。

<p>キーワード</p> <hr/> <p>キーワードの言い換え</p>	<p>文献リスト No. もしくは出典元</p>
<p>キーワードの意味・定義</p>	
<p>関連する語い</p>	

<p>キーワード</p> <hr/> <p>キーワードの言い換え</p>	<p>文献リスト No. もしくは出典元</p>
<p>キーワードの意味・定義</p>	
<p>関連する語い</p>	

<p>キーワード</p> <hr/> <p>キーワードの言い換え</p>	<p>文献リスト No. もしくは出典元</p>
<p>キーワードの意味・定義</p>	
<p>関連する語い</p>	

<p>キーワード</p> <hr/> <p>キーワードの言い換え</p>	<p>文献リスト No. もしくは出典元</p>
<p>キーワードの意味・定義</p>	
<p>関連する語い</p>	

● プレゼンテーションの準備

▶【課題研究メソッド】 p.132

プレゼンテーションを行うに際し、下記の内容をまとめよう。

① プレゼンテーションでもっとも伝えたいこと

② だれに対してプレゼンテーションを行うのか？ 『課題研究メソッド』 p.133 で挙げた点をもとに効果的に伝えるために注意すべき点をまとめよう。

▶ 対象者

▶ どのような点を注意すべきか

③ プレゼンテーションの流れについて書いてみよう。

発表時間 分

トピックセンテンス	示すべきもの	スライド番号

● 文献リスト

▶【課題研究メソッド】 p.40

番号	著者名, 作成組織, 編著者名, 講演者名, 作成者名	出版年, 作成年, 放送年, 講演年	タイトル	新聞社名, 出版社名, 制作会社名, 雑誌名, 講演者の所属, ウェブサイトの URL	巻数, 号数, 章番号, ページ, 放送日, 講演日	その情報を 見た日 (参照日)
1	▲×モ					
2	▲×モ					
3	▲×モ					
4	▲×モ					
5	▲×モ					
6	▲×モ					